

サポートブラケットにストッパーが当たる場合

ヤマハの製番130万以下（D,E,F,Gなど）にストッパーを取付けた場合、次高音部のサポートブラケットの上面にストッパーが当たり、ストッパーが十分に倒れないことがあります。十分に倒れるための取付けの一例です。

[取付け写真集のトップへ](#)

[マジックスタートップへ](#)

▶ スライドショーを再生



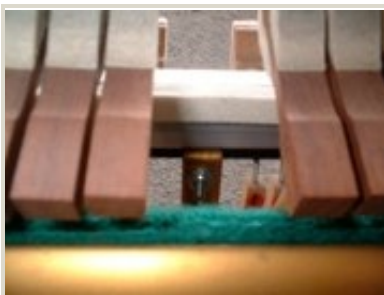
次高音部のこのブラケットにストッパーが当たることがあります。



普通にストッパーを取付けました



最高音部のヒンジ内で上下調整が出来るのですが、通常はストッパーが一番低くなるように、すなわち穴の上のほうで固定します。



するとストッパーが低い位置になるためにブラケットの上面がじゃまになり、手前に十分に倒れないことがあります。



最高音部を少し上にあげて付けて見ましょう。ストッパーが若干、左上がりでもナナメにつくような格好になります。



ヒンジを上の方へ向けました。



これでサポートブラケット上部とストッパーの下部との間に余裕が



スッキリと手前に倒れるようになりました。

[取付け写真集のトップへ](#)

[マジックスタートップへ](#)

できました。

